

安保破棄ニュース

No. 497
2018. 9. 7

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五三〇一〇〇一四 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 〇六―六七六三―三八三三
FAX 〇六―六七六三―三八三六
●Eメール anpo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ http://www.anpo-osk.jp

沖縄県知事選挙 勝利に向けて 心一つに

玉城デニー氏勝利を勝ち取ろう！！



9月13日告示30日投票で行われる、沖縄県知事選挙が激しくたたかわれています。

8月29日には、「オール沖縄」の候補者として、翁長知事の遺志を引き継ぎ、辺野古に新しい基地はつくらせないと、玉城デニー氏が出馬を表明しました。同31日には、仲井真知事の出した、辺野古埋め立て承認を、沖縄県が撤回しました。これによって、辺野古の工事はストップしています。

同31日に、玉城デニー氏の選挙事務所開きが行われ、選挙母体である「ひやみかち うまんちゅの会」の体制も整いました。

翌9月1日に、キャンプシュワブゲート前で開かれた、県民大行動にも、玉城デニー候補が駆け付け、力強く挨拶をされました。

自公政府が推す、佐喜真氏は、辺野古の問題には全く触れず、「普天間基地の固定化はあってはならない」ということだけを述べ、争点かくしをしています。これは、今年2月に行われた名護市長選挙や、2016年の宜野湾市長選挙などでも、自公政権サイドが取ったのと同様の戦略です。しかし、SACO合意以降、20年以上も普天間基地が全く返還されないのは、移設条件がついているからです。さらに、辺野古に新基地を作っても普天間基地が返還される保証はないということが、昨年6月に稲田防衛大臣（当時）の答弁にも示されています。

日本の宝、世界の宝である沖縄の海を守り、日本を戦争する国にさせないために、今回の沖縄県知事選挙は何が何でも勝たなければいけない選挙です。出馬表明と体制の確立の面から、佐喜真候補がかなり先を走っている状況です。これから、全力で追いつき追い越していくために、全国からの物心両面の支援が必要となります。安保破棄大阪実行委員会としても、現地支援行動とカンパ活動に取り組んでいます。ご協力よろしくお願ひします。詳細は、安保破棄大阪実行委員会までお問い合わせください。

※事務所不在の場合は、(090)38448503:事務局員 長谷 携帯)までおかけください。
※カンパ振込先

銀行振り込み:三井住友銀行玉造支店(普)口座番号6593255
名義:安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会
郵便振り込み:口座番号 00980422167

安保破棄大阪実行委員会

【現地支援行動へ行っている守山事務局長から9月2日に届いたレポートです】

いよいよ沖縄の統一地方選挙が戦いの火蓋を切りました。

名護では9時30分から大中南交差点で、吉居俊平候補の出発式が行われ、約100人の市民が集まりました。

日本共産党の小池 晃氏が応援に立ち、地元紙が報じた、埋め立て承認撤回表明の前日の、翁長知事の壮絶な姿が紹介されました。翁長知事は、実は5メートル歩くのに20分かかかる状態だったという事実。そして、「記者会見で自分の思いを伝えられるだろうか」と珍しく弱音を吐きながらも、国が一般職員への損害賠償をちらつかせる状況の中、「職員を矢面に立たせない。政治家の自分は丸裸になっても撤回をやる」と強く言われたという樹子婦人の言葉には、多くの沖縄県民が突き動かされています。

さらに、「県民が諦めなければ辺野古の基地は造られない」と翁長知事は信じていた。県民が「しょうがない」となれば、沖縄に基地は置かれたままになる。

それでいいのか。と翁長は命を懸けて、そこを問い続けた。と、語られています。

まさに、これこそが、翁長知事が信じた「ウチナンチュが一つになって、団結したとき、私たちが考えている以上の力強さがある」ということなのでしょう。

翁長知事の遺志を引き継ぎ、心一つに「平和で、誇りある豊かな沖縄」を実現するため、一人一人が、できる限りの力を発揮しようではありませんか！

23 宣伝行動

通算366回目となる「大阪安保23定例宣伝行動」を8月23日に実施しました。台風が近づいてきている状況で心配しましたが、少し風が強い程度で、なんとか宣伝行動を実施することが出来ました。共産党、自治労連、原水協から弁士を出してもらいました。

安保条約のそもそもの部分から、この間の沖縄の状況、核廃絶の流れなど、国際的には平和構築の流れへと動いていること、それに対して反動的な日本政府、安倍政権のひどさなどをうったえました。

「辺野古新基地建設工事中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願」署名の呼びかけも行い、暑い中でしたが、足を止め署名に協力してくれる人もいました。



次回は、9月21日に行います。多数の参加をよろしくお願いします。

岸和田地域に 安保廃棄の灯火を

安保破棄岸和田実行委員会議長 家串省三郎

岸和田安保は、毎年恒例の夏季学習会を、8月24日(金)に開催しました。講師は中田進先生。「暮らして平和を根本から考える」安保のすべてを今こそ学ぼう」と題し、安保と自衛隊の歴史、暮らして平和を守るためにどうすればいいのかについてなど、熱く語っていただきました。とてもわかりやすい「中田節」に領きながら、「平和と暮らしの困難さのすべてに日米

安保条約が大本にある」「諸悪の根元は日米安保条約」ということを実感しました。参加者30人でしたが、これからの日本や世界の平和を求める闘いの大きな力になりました。

学習会の冒頭挨拶のなかで、岸和田安保幹事会から、沖縄知事選挙支援緊急カンパを訴えましたが、2万円を超えるカンパが寄せられました。沖縄知事選挙勝利に向けた意思統一もおこないました。

岸和田安保は、毎月の「23行動」、8月の夏季学習会、1月の総会&学習会を主な取り組みとして行動しています。毎月幹事会を開催して取り組みの強化をはかっていますが、様々な困難さも抱えているのが実態です。それでも、岸和田の地で、大きくはないですが「安保廃棄の灯火」を、ともし続けるべく頑張っていきたいと思っています。



講演する 中田進先生

時代を切り開こう!

大阪安保2018年後半幹事会

8月30日に、安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会2018年後半幹事会を開きました。今年後半の活動をどのように作っていくかを議論し確認する場です。14団体・地域からと個人幹事合わせて、26人の出席でした。代表幹事の植田さんは開会あいさつで、朝鮮戦争と沖縄や日本の平和の問題をもに考えることの必要性や、日本に配備されようとしているCV22オスプレイの危険性などに触れ、今回の沖縄県知事選挙は、日本をどのような国にしていけるのか、日本の行方が問われる大事な選挙であると話され、日本をどのような国にしていくのかを私たちがつくりだしていく、そういう時代を切り開いて行くために頑張ろうとあいさつされました。討論では、AALAの澤田さんは、紛争は対話によって解決できるということがこの間示されていることに触れ、市民が声を上げれば世界は変えられるということを話され、沖縄県知事選挙に関して、世界の平和と繁栄に関わる選挙であると発言されました。共産党府委員会の福井さんは、「今回の沖縄県知事選挙は」沖縄と日本の命運をかけたたたかい」「全党あげてたたかう」と発言され、この間作ってきた活動に関して報告されました。平和委員会の奥村さんは、「オスプレイ来るな八尾連絡会」のこの間の活動を、5年前からの経過を踏まえて発言されました。中央区安保の北川さんは、毎月欠かさず行っている、「中央区安保23宣伝行動」について発言されました。

当面の予定

- 9月
9日(日) 沖縄県一斉地方選挙(名護市議選・東村議選など)
「経ヶ岬米軍レーダー基地の今」
(現地視察&基地問題報告集会)
18日(火)「日朝国交正常化と東アジアの平和を!」
9・18キャンドル集会
(18:30~エルシアター)
21日(金)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
30日(日)沖縄県知事選挙 投開票
- 10月
10日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
14日(日)大阪憲法会議・「秋の憲法大学習会」
(14:00~大阪市立中央区民センター)
21日(日)那覇市長選挙投開票
23日(火)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 11月
7日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
22日(木)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)
- 12月
5日(水)大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
12日(水)近畿安保・合同会議(15:00~大阪安保)
21日(金)大阪安保23定例宣伝(12:00~淀屋橋)

「沖縄連帯のつどい in おおさかII」中止のお知らせ

沖縄県知事選挙が9月30日投開票で行われることになり、そのため、9月18日に予定していましたが、「沖縄連帯のつどい in おおさかII」を中止させていただくことになりました。

講演をお願いしていました、前名護市長の稲嶺進さんが、この時期には沖縄を離れるわけにはいなくなったということと、安保破棄大阪実行委員会としても現地に入り支援行動に取り組まなければいけない時期にもなるということで、判断いたしました。